

安全と品質を核とし、
生産性の向上を図ることで、
経営計画の着実な達成を目指す。

代表取締役社長

五百蔵良平



今年度は、中期経営計画(2018年度～2020年度)の2年目にあたり、創業130周年の節目となる2020年に向けて、各基本戦略を推進し、計画達成に向け全社一丸となって取り組んでいるところです。

その一環として、安全と品質を最優先とするため、安全環境本部を設置して労働災害防止の徹底を図るとともに、本社の土木部、建築部に品質監理室を設置し、各支店の品質アドバイザーと連携して、工事の品質向上に努めております。

また、工事下請契約の支払い条件を全て現金払いに変更しました。この取り組みにより協力業者との結びつき・連携を強固なものとし、当社ならびに協力会社が一体となり、建設業界全体の課題である働き方改革を推進していきます。

生産性の向上も働き方改革の推進には重要な要素となり、現場での施工管理をはじめ、オフィ

スワーク全般的にICT(情報通信技術)の導入を積極的に進めており、成果が見えてきています。

国土交通省では、ICTを建設現場に導入することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図り、魅力ある建設現場を目指す取り組みである「i-Construction」を進めています。その中で、当社は、国土交通省関東地方整備局より受注しました河川浚渫工事において、ICT活用工事の実施を希望し、第1号適用が認定されました。

企業を継続的に成長させ、社会からの期待に応えていくためには、SDGs(持続可能な開発目標)への取り組みは不可欠です。当社では、以前から取り組んでおりましたCSR活動および今後の活動目標に、新たにSDGs17項目の目標を取り入れました。本報告書では、当社の活動をSDGs17項目に関連付けて取りまとめております。

2019年10月

創業 ～地域の発展をめざして～

明治時代初期の北九州は、石炭埋蔵量の豊富な筑豊炭田を擁するものの、石炭など物資の輸送問題が地域発展の障害となっていました。

当社は、1890年、海上交通の要衝である洞海湾（若松港）および周辺の運河を改良し、筑豊炭田から採掘された石炭の積出港として開発・運営することを目的として設立されました。設立にあたっては、地元九州を起点とし、渋沢栄一翁をはじめとする東京、大阪の著名な事業家の方々が発起人および株主として集まり、事業の継続に尽力してまいりました。このような民間の資本を利用して公共事業を行う手法は、現在のPFI事業の先駆けともいえるものでした。工事費用は港や運河を利用する船舶から使用料を徴収して賄うという条件で、福岡県知事の許可を受け、改良工事に着手しました。そして、徐々に港の整備が進み、1901年には、八幡村（現・北九州市八幡東区）に官営八幡製鉄所が開設されたことを契機に、洞海湾を中心とする地域は、北九州工業地帯として発展していきました。



本店に残る洞海湾開発の基準点
これは明治時代に洞海湾開発の測量基準点として設けられたものです。

会社概要

商号	若築建設株式会社 (WAKACHIKU CONSTRUCTION CO.,LTD)
創立	1890年(明治23年)5月23日
代表者	代表取締役社長 五百蔵良平
資本金	113億7千4百万円
株式上場	東京証券取引所第一部
従業員数	681名(2019年3月31日現在)
事業内容	国内・国外建設工事、海洋開発、地域・都市開発、環境整備・保全およびその他建設に関する事業、建設コンサルティング、マネジメント事業、不動産事業



事業所一覧

本店	〒808-0024 北九州市若松区浜町一丁目4番7号	TEL (093)761-1331
東京本社	〒153-0064 東京都目黒区下目黒二丁目23番18号	TEL (03)3492-0271
東北支店	〒980-0014 仙台市青葉区本町二丁目10番28号	TEL (022)221-4325
千葉支店	〒260-0027 千葉市中央区新田町4番22号	TEL (043)242-2245
東京支店	〒153-0064 東京都目黒区下目黒二丁目23番18号	TEL (03)3492-0811
横浜支店	〒231-0015 横浜市中区尾上町一丁目6番	TEL (045)662-0814
北陸支店	〒950-0087 新潟市中央区東大通一丁目2番23号	TEL (025)241-1242
名古屋支店	〒460-0003 名古屋市中区錦一丁目11番20号	TEL (052)201-5321
大阪支店	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号	TEL (06)6261-6736
中国支店	〒730-0031 広島市中区紙屋町一丁目3番2号	TEL (082)248-1810
四国支店	〒760-0071 高松市藤塚町一丁目2番1号	TEL (087)833-7347
九州支店	〒808-0024 北九州市若松区浜町一丁目4番7号	TEL (093)752-3510
福岡支店	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東一丁目13番9号	TEL (092)483-5307
海外事業所	ジャカルタ事務所(インドネシア共和国)、コロンボ事務所(スリランカ民主社会主義共和国)、ハノイ事務所(ベトナム社会主義共和国)、マレー事務所(モルディブ共和国)	
わかちく史料館	〒808-0024 北九州市若松区浜町一丁目4番7号 当社本店3階 開館時間 午前10時～午後4時 休館日 毎週月曜日・祝祭日・年末年始 入館料 無料 TEL (093)752-1707	



東京本社



わかちく史料館

社長方針

安全と品質を核とし、生産性の向上を図ることで、経営計画の着実な達成を目指す。

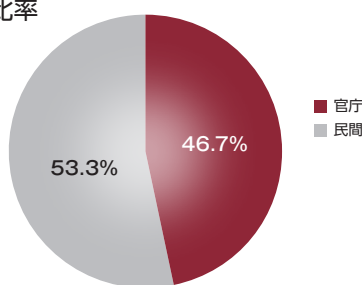
- 社長方針各施策**
- 官庁の海上土木を柱としながら、民間営業分野を拡充することで、収益基盤の多様化を図る
 - 「品質と安全の徹底」を核とし、顧客の信頼をより一層高める
 - 東南アジア地域を核とした海外事業の基盤強化を図る
 - 競争力を高めるため技術提案力の強化を図る
 - 人材確保・育成の強化を図る
 - 業務効率の改善、生産性の向上を図る
 - 効果あるリスクアセスメントを実践する
 - 防災活動、環境保全活動、地域社会との交流を推進し、社会貢献に努める

財務ハイライト

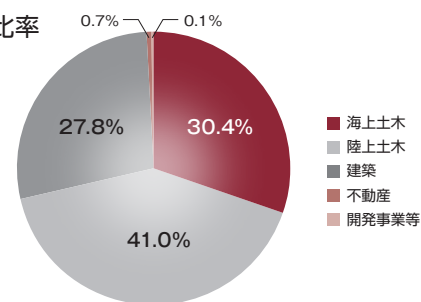
(単位：百万円)

年度	2014	2015	2016	2017	2018
受注高	83,775	84,284	90,160	91,529	92,326
売上高	69,001	73,428	78,944	89,677	96,284
次期繰越高	65,873	77,875	89,504	90,712	87,417
営業利益	2,093	2,247	2,542	3,312	4,157
(営業利益率)	(3.0%)	(3.1%)	(3.2%)	(3.7%)	(4.3%)
経常利益	1,930	2,107	2,423	3,220	4,052
純利益	2,084	1,939	2,279	2,679	3,053
資産合計	59,192	61,598	67,081	74,701	77,967
純資産	19,986	21,795	23,627	25,740	28,147
自己資本比率	33.8%	35.4%	35.2%	34.5%	36.1%

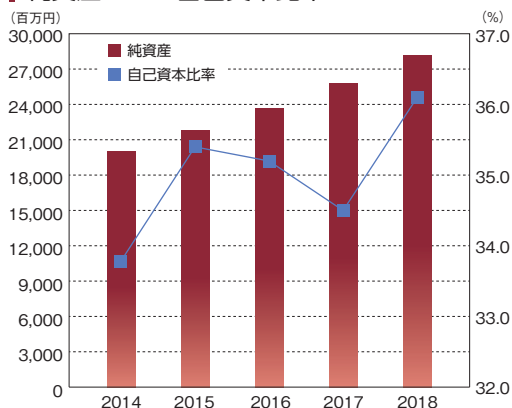
官民受注比率



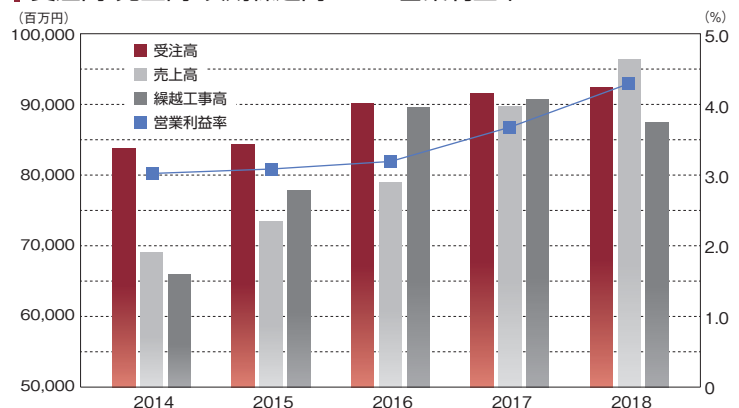
売上構成比率



純資産および自己資本比率



受注高・売上高・次期繰越高および営業利益率



若築建設130年のあゆみ

弊社は、1890年、海上交通の要衝である洞海湾(若松港)および周辺の運河を改良し、筑豊炭田から採掘された石炭の積出港として開発・運営することを目的として設立されました。設立にあたっては、筑豊地方や渋沢栄一をはじめとする東京、大阪の著名な事業家の方々が発起人として集まり、また、株主として事業を継続するための資金獲得に尽力しました。

このような民間の資本を利用して公共事業を行う手法は、現在のPFI事業の先駆けともいえるものでした。

以来129年、海上土木事業のパイオニアとして、豊かな未来を創造するため技術と経験を積み重ね、国内物流や海外への輸出入の拠点となる港湾施設、国際化が進みニーズの高まる空港施設、さらに、都市開発に伴うインフラ事業、風力・太陽光などの再生可能エネルギー関連事業、共同住宅、工場、教育・医療・福祉施設の建設等、「人にも地球にも喜ばれる環境づくり」を目指した事業を展開してまいりました。

今後は、土木事業を中核として、建築事業の収益力を強化し、海外事業の収益基盤を確立させることにより、更なる経営基盤の強化を図るとともに、コーポレートガバナンスを充実させ、防災活動や地域交流にも積極的に取り組み、建設業としての社会的責任を果たしてまいります。



1890年 創業当時の社屋

1897年 藤ノ木埋立工事

1899年 第二洞海丸

1909年 新築された社屋

1956年 砂町埋立地

明治

- 1888年(明治21年) 浚疏会社創立を県に上申
- 1889年(明治22年) 資本金60万円とする若松築港会社設立計画が整う
- 1890年(明治23年) 5月23日を若松築港会社創立の日とする
若松港築港工事着工
- 1892年(明治25年) 明治26年1月1日よりの港銭徴収免許を得る
- 1893年(明治26年) 社名を若松築港株式会社と改称
- 1897年(明治30年) 藤ノ木二島地先埋立工事着工(～1921)
- 1899年(明治32年) バケット式浚渫船第二洞海丸、第三洞海丸を英国に発注
- 1906年(明治39年) 若松港第一次・第二次拡張工事竣工

大正

- 1913年(大正2年) プリストマン浚渫機械7基作業開始
- 1915年(大正4年) サンドポンプ式浚渫船若松丸(80馬力)作業開始
浜船塀所設置工事竣工
- 1917年(大正6年) 若松港第三次拡張工事竣工
- 1926年(大正15年) 戸畑市委託による汐井崎地先一文字海岸埋築
および岸壁築造工事竣工

昭和

- 1933年(昭和8年) 若松市制20周年記念祝賀会で表彰される
- 1938年(昭和13年) 3月31日限りで港銭徴収廃止
会社の目的変更による改正定款認可、港湾工事方面に進出

- 1940年(昭和15年) 若松港第四次拡張工事のうち第一期工事竣工認可
- 1945年(昭和20年) 若松市による戦災者住宅100戸建設工事着工
- 1946年(昭和21年) 従業員組合結成(労働組合)
- 1949年(昭和24年) 建設業登録申請
- 1950年(昭和25年) 定款変更により社長制実施
- 1953年(昭和28年) 当社船舶造修所において1000馬力浚渫船
第一若築丸建造
東京支店開設
- 1955年(昭和30年) 若松港第四次拡張工事のうち第二期工事竣工認可
- 1956年(昭和31年) 東京都砂町工事着工(自社埋立)
出光興産徳山製油所工事着工
- 1959年(昭和34年) 東京本部開設
有明人工島築島工事着工
- 1961年(昭和36年) 当社株式、東京証券取引所第二部に上場
- 1962年(昭和37年) 当社株式、東京証券取引所第一部に上場
- 1965年(昭和40年) 若築建設株式会社と社名変更
- 1969年(昭和44年) 日本建設業団体連合会に入会
- 1972年(昭和47年) 川田工業株式会社を合併
- 1976年(昭和51年) スエズ浚渫工事着工
本四連絡橋大鳴門橋下部工事着工
福岡市地下鉄工事着工
- 1978年(昭和53年) 小山スーパー建築工事着工
- 1980年(昭和55年) 千葉県市原市にて第一回住宅分譲

若松港築港関連施設群 土木学会選奨土木遺産に認定

令和元年度の土木学会選奨土木遺産に「若松港築港関連施設群」が認定されました。

選奨土木遺産制度は、歴史的土木構造物の保存に資することを目的として平成12年度に創設された制度で、近代(幕末から昭和20年代)に完成した土木構造物が対象となります。

今回認定の対象となった構造物は、当社が建設した石積護岸を中心とした構造物群であり、当社所有の「出入船舶見張り所跡」および「測量基準点」も含まれております。



若松港築港関連施設群



東海岸係船護岸



東海岸通護岸



若松南海岸物揚場



弁財天上陸場



出入船舶見張り所跡



測量基準点



1956年 出光興産徳山製油所棧橋
およびドルフィン工事



1990年 木屋瀬土地区画整理事業



1992年 矢那川ダム(千葉県)



2005年 石巻地区広域行政事務組合
消防本部庁舎(宮城県)



2015年 技術研究所を再整備

- 1983年(昭和58年) 新社章制定
- 1985年(昭和60年) 着座式捨石均し工法開発
羽田沖地盤改良工事着工
- 1986年(昭和61年) 関西空港地盤改良3工区護岸築造工事着工

平成

- 1989年(平成元年) ドル建銀行保証付分離型新株引受権付
社債発行(1億米ドル)
東京湾横断道路木更津人工島西工事着工
- 1990年(平成2年) 木屋瀬土地区画整理事業着工
創立100周年
- 1992年(平成4年) 矢那川ダム本体建設工事着工
- 1995年(平成7年) 神戸新港西災害復旧工事着工
- 1997年(平成9年) わかちく史料館開設
ISO9001(品質マネジメントシステム)認証取得
- 1999年(平成11年) 若松ライフ研究所設立
- 2000年(平成12年) 中部国際空港護岸工事着工
プレーシングポンツーン方式による沈埋函据付
(衣浦港中央ふ頭地区道路沈埋部築造工事)
- 2001年(平成13年) 東ティモール国ディリ港航路標識灯および
防舷施設緊急復旧工事着工
- 2002年(平成14年) 福岡県象市でディメンション赤間駅前
(マンション)分譲

- 2003年(平成15年) ISO14001(環境マネジメントシステム)認証取得
- 2005年(平成17年) 東京国際空港D滑走路建設工事外工事着工
スマトラ沖大地震による津波災害復旧工事着工
(スリランカ国、モルディブ国にて)
ニカラグア国サン・ファン・デル・スル漁港施設改善工事着工
PFI事業への参画
(石巻地区広域行政事務組合消防本部(石巻消防署併設)庁舎移転整備事業)
- 2006年(平成18年) 北九州港みなとまちづくり大賞の受賞
- 2009年(平成21年) OHSAS18001(労働安全衛生マネジメントシステム)認証取得
- 2011年(平成23年) 災害廃棄物処理業務(石巻ブロック)受託
- 2012年(平成24年) 青い羽根募金活動による名誉総裁賞の受賞
- 2013年(平成25年) 浚渫グラブバケット角度制御装置の開発
- 2014年(平成26年) グラブ浚渫船兼全旋回式起重機船「若鷲丸」の建造
いなげの浜美化運動」で緑綬褒状を拝受
- 2015年(平成27年) 技術研究所を再整備
- 2016年(平成28年) サモア独立国アピア港安全向上計画工事着工
- 2017年(平成29年) 「くるみん」の認定
- 2018年(平成30年) 第1回「i-Construction大賞」優秀賞を受賞
青い羽根募金活動による名誉総裁賞の受賞
- 2019年(平成31年) 第4回けんせつ小町活躍推進表彰特別賞の受賞
若松港築港関連施設群の土木学会「選奨土木遺産」認定

創業130周年事業をスタートしました

当社は、2020年5月23日に創業130周年を迎えるにあたり、ロゴマークやメッセージを制作しました。新しい時代の幕開けに、新しい若築建設株式会社がスタートします。

ロゴには、オフィシャルマークとコミュニケーションマークがあり、オフィシャルマークは、港の開発からはじまった当社が130年という節目を更なる大海原へ向かうという気持ちを、波で象った「W」の文字で表現しました。また、コミュニケーションマークには、マスコットキャラクターかものはしの「わっくん」を使用しました。

メッセージには、それぞれ130年の歴史を未来に向けてつなげていく思いが込められています。

｜ オフィシャルマーク



｜ コミュニケーションマーク



｜ オフィシャルメッセージ

風を超えていけ。

｜ コミュニケーションメッセージ

From Sea, To the Future.
～始まりは海。行き先は未来。～

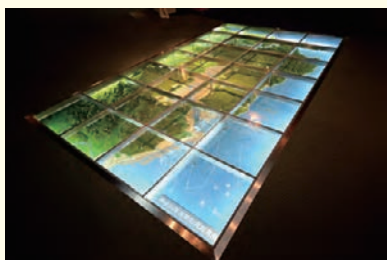
｜ 創業130周年の歴史を伝える、わかちく史料館

わかちく料館は、1890年に若松で生まれた当社が、明治から令和へと130年の長きにわたり地域の皆様にお世話になったことへの感謝と、洞海湾建設をはじめとする若松の歴史を伝えたいという思いを込めて運営しております。館内には当社保存の資料だけでなく、皆様から寄せられた多数の貴重な資料を展示しています。毎年の入場者数は1万名を超え、広く地域の皆様に愛される存在となっております。2月には、福岡市の小学5年生(120名)の社会科の授業の一環として、当史料館の見学も行われました。

当社は今後も建設という仕事を通じ、社会に貢献するとともに、当史料館を通じた地域交流を目指してまいります。



わかちく史料館 館内の様子



2018年度 完成工事紹介

海上土木

陸上土木

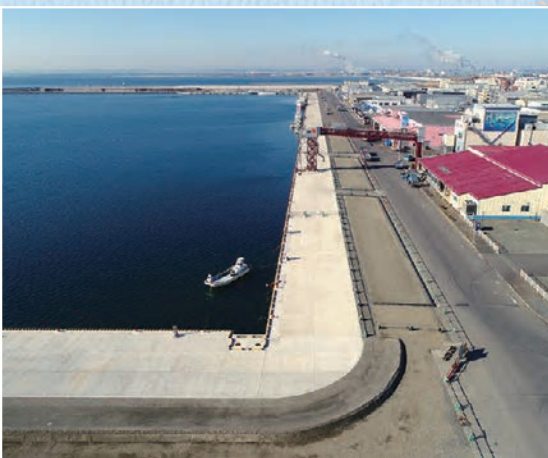
建築



12 宇部港本港地区航路(-13m)浚渫工事(その2)

発注者 国土交通省中国地方整備局

宇部港本港地区において入港船舶の大型化に対応した岸壁一体の航路・泊地の整備が行われる中、航路、泊地の増深(-13m)をICTを活用して施工しました。



1 石巻漁港-6.0m岸壁外災害復旧(その2) 工事

発注者 宮城県

石巻漁港の岸壁は、東日本大震災による津波で被災したため、4年の歳月を掛け約2,000mの復旧工事を行いました。



2 小名浜港東港地区岸壁(-16m) (耐震) 本体工事

発注者 国土交通省東北地方整備局

大型貨物船に対応した大水深の岸壁を築造するもので、本工事では耐震化される水深16mの岸壁の鋼管杭および被覆・根固を施工しました。



3 にかほ第二風力発電所

発注者 株式会社ジェイウインドにかほ

本発電所は、大型の風力発電機(2.3MW)を秋田県にかほ市、鳥海山北側山麓、標高約500mの仁賀保高原に18基設置するものであり、当社は風車基礎工事を実施しました。



4 庄内遊佐太陽光発電所建設工事

【発注者】 株式会社 庄内自然エネルギー発電

山形県飽海郡遊佐町において、敷地面積31haの太陽光発電所を建設するために掘削・盛土・排水整備および仮設道路の造成、約6万6千枚のパネルを設置しました。



5 金花山鋼製棧道工事

【発注者】 国土交通省関東地方整備局

計画中のハツ場ダムに水没する関係住民の方々の移転先である長野原町大字川原湯地先にある打越代替地と上湯原代替地を結ぶ全長約2kmの町道の内、鋼製棧道区間(延長約119m)を施工しました。



6 新港ふ頭9号岸壁整備工事(その12・上部工)

【発注者】 横浜市

横浜港新港地区岸壁の撤去工、護岸工、上部工、裏込・裏埋工、PC桁工、付属工及び仮設工を施工しました。



7 横浜市金沢区瀬戸2丁目計画新築工事

【発注者】 伊藤忠都市開発株式会社

本工事は、RC造10階建ての分譲マンションで、総戸数は72戸、テナントが2店舗あり、海が眼前に広がるロケーションを最大限に活かした計画となっています。



8 敦賀港(鞠山南地区)岸壁(-14m)本体工事

【発注者】 国土交通省北陸地方整備局

ケーソン(水中構造物)ができるまで
~敦賀港-14m岸壁本体工事~(動画)



9 名二環かの里4高架橋南下部工事

【発注者】 国土交通省中部地方整備局

名古屋環状2号線事業は、名古屋都市圏の主要幹線道路のひとつとして、交通分散による都市内交通の渋滞緩和、アクセス強化などを目的としています。本工事では、下部工1基(P79)を構築しました。



10 和歌山下津港北港地区防波堤(南)本体工事

【発注者】 国土交通省近畿地方整備局

エネルギー港湾として整備が進められており、本工事では防波堤(南)の本体工および日高岸壁(-12m)の本体工を施工しました。



11 東予港中央地区岸壁(-7.5m)築造工事(その2)

【発注者】 国土交通省四国地方整備局

船舶の大型化に対応した、耐震強化岸壁を有する複合一貫輸送ターミナルを整備するもので、本工事では耐震強化岸壁の上部工、裏込・裏埋工を施工しました。



13 博多港(アイランドシティ地区)道路(IP12~IP16)橋梁下部工事

発注者 国土交通省九州地方整備局

博多港(アイランドシティ地区)道路(IP12~IP16)橋梁下部工の仮設工、基礎工、橋梁工、構造物撤去工および函渠工を施工しました。

14 九州新幹線(西九州)、嬉野温泉駅高架橋他工事

発注者 鉄道建設・運輸施設整備支援機構

橋梁518m、高架橋535m、駅部高架橋195m、深礎4基、保守用斜路2箇所を延長1,248mを施工しました。

15 いすゞ自動車九州株式会社宮崎支店新築工事

発注者 いすゞ自動車販売株式会社

老朽化した現存する工場の建て替え計画として、近くに有料道路もあり交通の便が良く、整備工場としての利用者拡大に期待がもてる宮崎港に接する場所において、移転新築工事を行いました。



16 霧島市福山町佳例川発電所太陽光発電施設新設工事

発注者 エフビットコミュニケーションズ株式会社

鹿児島県霧島市内に位置する山間部でのメガソーラー事業(出力:約8MW)の内、太陽光発電所新設のための大型造成工事です。

17 北熊本(28補)広報館新設建築その他工事

発注者 防衛省九州防衛局

熊本市北部に所在する北熊本駐屯地は、第8師団司令部が駐屯する陸上自衛隊の駐屯地です。本事業は、熊本震災の影響により使用不能となった既存展示館と大講堂を一つに集約し、将来増加する展示品ならびに部隊音楽隊の演奏会が行なえる拠点駐屯地の施設整備事業です。



写真提供: 内閣府沖縄総合事務局

18 VUTEQ福岡工場新築工事

発注者 ビューテック株式会社

交通の便が良く、十分なストックを確保できる自動車用ガラスの加工工場の整備を求められ、その中で当社は、各許認可取得、工場敷地の造成設計・造成工事、新工場の建築設計・建築工事を実施しました。

19 那覇空港滑走路増設4工区埋立工事

発注者 内閣府沖縄総合事務局

滑走路を新設してライフラインの充実を図ることを目的としており、本工事は4工区(滑走路北側)の陸上地盤改良工、埋立工、本体工、上部工、裏込・裏埋工および雑工を行いました。